生成 A I 研究校実践事例

学校名	都立日野高等学校(全日制課程・高等部)		
学年	第2学年	教科等	数学
単元名	微分・積分を実際に利用した技術について理解する(1時間)		
	・生成AIを利用する練習時間とする。		
授業の概要	・情報モラルについての理解を深める。		
	・微分・積分を応用的に利用する例を、生成AIを用いて考える。		
本時において生成AI	・生成AIの使い方のバリエーションを増やす。		
を活用する良さ	・ネット検索との違いを明確に伝える。		

本時の目標 (1/1時間) 微分・積分を利用した技術例を考えたり、発見したりする。				
		●主な学習活動・生徒の活用	□生成AIの活用	
	<ul><li>●生成 A   を体験する。(10分)</li><li>・生成 A   にログインし、Chat GPT3.5 で様々なプロンプトを入力してみる。</li><li>・まずは生成 A   との会話のようなものでも良い。</li></ul>			
	微分・積分を有効活用した技術を考えよう。			
<ul> <li>●微分・積分を用いた技術のアイディアを出力(10分)</li> <li>・プロンプトを工夫し、微分・積分が使われている現在のステムを列挙してみる。</li> <li>●新たな使い方を発見できるか探る(20分)</li> <li>・新しい技術を見つけるプロンプトを打ち、生成AIにはさせる。</li> <li>・生成AIが出力した様々なアイディアを、自分なりにはしてみる。</li> <li>●本時の振り返り(10分)</li> <li>・生成 AIにどのような指示をしたか、どのような出力され、それが正しいものだったかどうかを確認する。「ったものであれば、再度自分で精査する。</li> </ul>		ンプトを工夫し、微分・積分が使われている現在のシムを列挙してみる。な使い方を発見できるか探る(20分)い技術を見つけるプロンプトを打ち、生成 A I に出力る。 A I が出力した様々なアイディアを、自分なりに改造みる。の振り返り(10分) A I にどのような指示をしたか、どのような出力がなそれが正しいものだったかどうかを確認する。間違	・Chat GPT3.5 と 4 を使い分 けながら添削の精度を測っ てもよい。	

	使用したプロンプト例	出力例
1	微分、積分は日常生活のなかでどのように使 われているか。	1. 物理学: 運動の速度や加速度の計算に微分が使用され、位置や速度の計算に積分が使用されます。例えば、自動車や電車の速度制御や運動のモデリングに使用されます。(中略) 3. 生物学: 生物学では、生物の成長や変化、生態系のモデリングなど、さまざまな現象を微分や積分によって解析します。例えば、人口増加や病気の拡散などをモデリングするために使用されます。(中略) これらは一部の例ですが、微分と積分は科学、技術、経済など、さまざまな分野で広く使用されています。
2	経済学ではどのようにつかわれているか	"経済学では、微分と積分がさまざまな方法で使用されています。以下にいくつかの具体的な例を挙げます。 (中略) 3. 経済成長のモデリング: 経済成長を予測するために、微分や積分が使用されます。経済成長率の変化をモデル化するために微分が使用され、国内総生産(GDP)の累積を計算するために積分が使用されます。 (中略) これらは経済学で微分と積分が使用される一部の例です。微分と積分は、経済現象や市場の動きを数学的にモデル化し、経済学の理論や政策の分析に役立ちます。"
3	経済成長を予測する際にはどのような計算を するのか	<ul><li>"経済成長を予測する際には、さまざまな要素や指標を考慮して計算を行います。以下に一般的な予測手法のいくつかを説明します。(中略)</li><li>4. 経済政策の影響の評価:経済成長を予測する際には、経済政策の影響を評価することも重要です。経済政策の変化による経済成長への影響をモデル化し、予測に反映させることがありま</li></ul>

<del></del>	<del>_</del>
	す。これには、政策変数の微分や積分を使用す
	ることがあります。
	(中略)
	これらは一般的な手法の一部であり、予測手法
	は状況やデータの特性によって異なります。経済
	成長の予測は複雑なプロセスであり、経済データ
	の分析や数学的手法の適用が必要です。"
	"微分と積分を使用して経済成長を予測する方法
	の一例を見てみましょう。
	経済成長率の予測に微分を使用する場合、以下の
	手順を考えることができます。
	(中略)
	1. GDP の時系列データを取得します。
All I I I I I I I I I I I I I I I I I I	2. 取得した GDP データを使って、年ごとの成長
微分、積分をつかって	率を計算します。これは、隣り合う年の GDP
	の差を時間の差で割ることで求められます。
	(中略)
	このように、微分と積分を使用して経済成長を
	予測することは一つの手法ですが、実際の予測に
	は経済モデルや他の統計的手法との組み合わせ
	が必要になる場合もあります。"

	本時において生成AIを活用する上での配慮事項・ポイント
1	・個人情報は絶対に入力しない。
2	・出力内容をそのまま鵜呑みにしない。 ・必ず内容を吟味し、著作権や個人情報などが含まれないかチェックを行う。